

新年のご挨拶

明けましておめでとうございます。

平成二十八年の年頭にあたり謹んでご挨拶申し上げます。

皆さま方には、日頃から当協会の運営に特段のご支援、ご協力を賜り衷心より厚くお礼申し上げます。

昨年は、安全保障関連法案の成立、イスラム国によるテロ事件等、世界の安全保障に関する大きな出来事がありました。また、国内経済動向としては、「旧三本の矢」の経済対策にもかかわらず、GDPの2四半期連続のマイナスに示すように、依然デフレからの脱却には至っていない状況であり、景気の好循環と希望と夢の持てる社会へ向けてさらに「新三本の矢」が安倍首相から発表されました。

全国における木材産業の需要動向の指標となる新規住宅着工は、平成 26 年次 89 万戸で、消費税駆け込み需要のあった平成 25 年次の 98 万戸から約 1 割減となっており、今後の人口減に伴って需要は漸減するであろうと言われており、木材の新たな需要拡大が重要な課題であります。

県内においては、第 2 期産業振興計画の取組総括として、平成 22 年度を基準として、平成 27 年度の本産量や製品出荷額は、ほぼ目標に近づく見込みであるが、平成 33 年度のさらに高い目標達成に向けては、これまでの住宅需要が漸減する見通しから困難な状況であり、新たな木材利用促進に果敢に挑戦していくことが不可欠であり、非住宅部門や土木部門等への新規需要の掘り起こしが重要な課題であります。

木材協会としても、土佐材の良さを理解して頂くために、大消費地である東京や大阪での商談会や、関東・東海・福岡での土佐材展示会に出展する一方、県内でも「優良土佐材見本市」や「高知もくもくランド」の開催を通じ、より広く消費者に木材の良さを知って頂き、使って頂くように努力することが必要と考えています。

そのためには、これまでの取り組みを謙虚に振り返り、県民の財産であるすばらしい自然を活かした木材を使って頂くために、県内の業界が何をすべきか考え、共に行動することが重要です。

微力ではありますが全力で取り組んでいく所存でありますので、どうか一層のご理解ご協力をよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、本年が皆さま方にとって幸多い一年となりますようご祈念して新年のご挨拶と致します。



CLT

高知県はCLT先進県、平成26年に完成した高知おおとよ製材社員寮を皮切りに6棟の建築物が現在、県内で完成または建てられようとしています。



CLTとは、Cross Laminated Timber（クロス・ラミネイティド・ティンバー）の略で、欧州で開発された工法となります。CLTは板の層を各層で互いに直交するように積層接着した厚型パネルのことを呼びます。平成25年12月20日に日本農林規格（JAS）として、直交集成板の名称により制定され、平成26年1月19日に施行されました。

一般的によく知られている集成材は、張り合わせる板の繊維方向が並行方向に張り合わせるのに対して、CLTは、繊維方向が直交するように交互に張り合わせていきます。

CLT実証建築見学会の予定

- ① 田井高齢者福祉施設 構造見学会 1/27（水）10：00～14：50
CLTを木造軸組み工法の大壁（耐震壁）として、また、床スラブとして活用
土佐郡土佐町田井 定員120名
- ② 窪津漁業協同組合事務所 完成見学会 1/28（木）11：00～14：50
CLTを木造軸組み工法の本壁（耐震壁）として、また、床スラブとして活用
土佐清水市窪津 定員90名
- ③ 農業担い手育成センター長期研修宿泊施設 構造見学会 2/23（火）10：00～14：50
CLTを床・壁の主要構造材として活用
高岡郡四万十町黒石 定員120名



写真は建築中の高知県森林組合連合会事務所（南国市中央木材工業団地）平成28年3月末完成予定です。

高知県内CLT建築物一覧表

| 施工地 | 大豊町 | 南国市 | 四万十町 | 土佐清水市 | 土佐町 | 高知市 |
|------------------------|---|---|---|--|---|---|
| 施主 | 高知おおとよ製材㈱ | 高知県森林組合連合会 | 高知県 | 窪津漁業協同組合 | 合同会社元気村 (医療法人田井医院 関連会社) | 高知県市町村総合事務組合 |
| 施設名 | 高知おおとよ製材㈱社員寮 | 高知県森林組合連合会事務所 | 高知県立農業担い手育成センター ター長期研修用宿泊施設 | 窪津漁業協同組合事務所 | 田井高齢者福祉施設 | 高知県自治会館新庁舎 |
| 用途 | 共同住宅 | 事務所 | 寄宿舍 | 事務所+集会所(2F) | 高齢者福祉施設+寄宿舍(2F) | 事務所 |
| 工法 | CLT工法 | 木造軸組+CLT | CLT工法 | 木造軸組+CLT | 木造軸組+CLT | RC造一部S造+木造(耐火)+CLT |
| 階数 | 3階 | 2階 | 2階 | 2階 | 2階 | 6階 |
| 延べ床面積(m ²) | 264m ² | 1,208m ² | 724m ² | 254m ² | 593m ² | 3,648m ² (うち木造 1,867m ²) |
| 木材使用量(全体) | 128m ³ | 542m ³ | 364m ³ | 73m ³ | 175m ³ | 347m ³ |
| 事業期間 | H25.10~H26.3 | H27.7~H28.3 | H27.9~H28.3 | H27.7~H28.1 | H27.10~H28.3 | H27.6~H28.8 |
| 設計者 | ㈱日本システム設計 | かつう合班 (鈴江草宏建築設計事務所、界設計室、Oケンケンクジムジョ) | (意匠)田中建築設計事務所 (構造)㈱日本システム設計 | 建築舎KIT | 鈴江草宏建築設計事務所 | ㈱細木建築研究所 |
| 建物外観 |  |  |  |  |  |  |

故 川井 喜久博 氏を悼む

当協会副会長 故 川井 喜久博 氏におかれましては、昨年 12 月 17 日、67 歳というまだまだ若い年齢でご逝去されました。

故人は、平成 13 年 5 月から高知県素材生産業（協）連合会の理事として、また平成 16 年 6 月からは理事長として業界の高齢化や後継者問題があるなか、「緑の雇用事業」に取り組むなど、高齢化の減少に努め、素材生産の増産に尽力し、高性能林業機械の導入に取り組み、地域林業の振興発展に貢献されました。

また、平成 21 年 6 月からは当協会（一般社団法人高知県木材協会）の副会長として、生産から加工・流通・販売に至る木材業界全般にわたり、ご指導・助言を戴きました。

平成 23 年 4 月には高知県議会議員に初当選し、さらに平成 23 年 5 月からは全国素材生産業協同組合連合会会長、平成 27 年 4 月に二期目に選出され、その間、高知県林業活性化議員連盟事務局長、平成 25 年 3 月には、高知県林業活性化推進協議会会長などの数々の要職を務められ、長年にわたり森林・林業・木材産業の発展に多大に貢献されました。

ここに、故人の厚い情熱、固い意志による輝かしいご功績を称え、その業績を引き継いでいくことを誓いながら、ご冥福をお祈り申し上げます。



故川井喜久博氏の後任となる主な団体の新代表者

高知県林業活性化推進協議会会長 はまだ ひでひろ 浜田 英宏 氏

高知県林業活性化推進協議会とは

目 的：高知県の林業・林産業の振興

設立年月日：平成 25 年 3 月 2 日

会 員：25 団体

森林・林業・木材産業関係団体、建築・建設業関係団体、農業関係団体、
商工関係団体、市町村

事 業：目的達成のための商品開発・製造、普及・啓発、地産地消・外商、人材育成等

これまでの主な事業として、木材利用ポイント事業、木造住宅等地域材利用拡大事業

高知県素材生産業協同組合連合会理事長 ふくどめ おさみ 福留 治實 氏

高知県素材生産業協同組合連合会とは

目 的：会員及び組合員の自主的な経済活動の促進と経済的地位の向上

設立年月日：平成 9 年 6 月 12 日

会 員：4 流域（各流域の組合員計 49 名）

事 業：素材生産業の実施

住宅の取得・改修に関する支援制度等説明会

国土交通省の説明会が高知エリアでは高知商工会館 2月22日(月) 10:00~11:30 にあります。
申込みは下記ホームページからエントリーできます。

<https://krs.bz/jyuutaku-seisan/m/setsumeikai-uketsuke>



住宅・建築物の耐震改修の支援策(平成28年度予算案)

◇住宅・建築物安全ストック形成事業 <社会資本整備総合交付金、防災・安全交付金の基幹事業>

※地方公共団体の補助制度については、耐震改修支援センターのホームページ(URL: <http://www.kenchiku-bosai.or.jp/secure/seisan.htm>)もご覧ください。

| 住宅(共同住宅を含む) | 建築物 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|-----------------------------------|-----|-----------|----------|----------------------|----------|------|-----------|--|-------|-----|-----------|--------------------------------|----------------------|-----------------------------------|------------|--|----------------------------------|--|----------------|--|------------------------------|--|
| <p>○耐震診断</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民間実施: 国と地方で2/3 ・地方公共団体実施: 国1/2 <p>○耐震改修、建替え等</p> <p>(緊急輸送道路沿道の住宅は除却費も交付対象※1)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>建物の種類</th> <th>交付率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・緊急輸送道路沿道</td> <td>国と地方で2/3</td> </tr> <tr> <td>・密集市街地、津波浸水区域等の避難路沿道</td> <td>国と地方で2/3</td> </tr> <tr> <td>・その他</td> <td>国と地方で2/3%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1: H28年度予算案 緊急輸送道路、避難路沿道等以外の住宅及び建築物も交付対象とする。ただし、地震に別して安全な構造とする旨の地方自治体による助成又は耐震改修促進法に基づき助成を受けた住宅及び建築物とする。</p> | 建物の種類 | 交付率 | ・緊急輸送道路沿道 | 国と地方で2/3 | ・密集市街地、津波浸水区域等の避難路沿道 | 国と地方で2/3 | ・その他 | 国と地方で2/3% | <p>○耐震診断</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民間実施: 国と地方で2/3 ・地方公共団体実施: 国1/3(緊急輸送道路沿道の場合は1/2) <p>○耐震改修、建替え等(緊急輸送道路沿道の建築物は除却費も交付対象※1)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>建物の種類</th> <th>交付率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・緊急輸送道路沿道</td> <td>公共建築物: 国1/3 民間建築物: 国と地方で2/3</td> </tr> <tr> <td>・密集市街地、津波浸水区域等の避難路沿道</td> <td>公共建築物: 国11.5% 民間建築物: 国と地方で2/3%</td> </tr> <tr> <td>・避難所等の防災拠点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・多数の者が利用する建築物(3階建、1,000m以上の百貨店等)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・大規模な危険物処理・貯蔵場</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・避難路沿道(密集市街地、津波浸水区域等に係るもの以外)</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> | 建物の種類 | 交付率 | ・緊急輸送道路沿道 | 公共建築物: 国1/3 民間建築物: 国と地方で2/3 | ・密集市街地、津波浸水区域等の避難路沿道 | 公共建築物: 国11.5% 民間建築物: 国と地方で2/3% | ・避難所等の防災拠点 | | ・多数の者が利用する建築物(3階建、1,000m以上の百貨店等) | | ・大規模な危険物処理・貯蔵場 | | ・避難路沿道(密集市街地、津波浸水区域等に係るもの以外) | |
| 建物の種類 | 交付率 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・緊急輸送道路沿道 | 国と地方で2/3 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・密集市街地、津波浸水区域等の避難路沿道 | 国と地方で2/3 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・その他 | 国と地方で2/3% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 建物の種類 | 交付率 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・緊急輸送道路沿道 | 公共建築物: 国1/3 民間建築物: 国と地方で2/3 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・密集市街地、津波浸水区域等の避難路沿道 | 公共建築物: 国11.5% 民間建築物: 国と地方で2/3% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・避難所等の防災拠点 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・多数の者が利用する建築物(3階建、1,000m以上の百貨店等) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・大規模な危険物処理・貯蔵場 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・避難路沿道(密集市街地、津波浸水区域等に係るもの以外) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

◇耐震対策緊急促進事業等 <平成28年度予算案: 国費120億円>

○改正耐震改修促進法により、耐震診断の義務付け対象となる建築物に対し、通常の助成に加え、重点的・緊急的に支援(平成30年度末まで)

耐震診断、補強設計: 国1/3 ⇒ 1/2 耐震改修: 国11.5%、1/3 ⇒ 1/3、2/5

(不特定多数利用大規模建築物(ホテル・旅館、デパート等)等の耐震診断については、平成27年度末までの措置)

(通常の社会資本整備総合交付金等による国費分を含む助成率。上記の他、社会資本整備総合交付金等を活用した既存の耐震補助制度がない地方公共団体の区域においても一定の支援)

◇耐震改修促進税制(住宅・建築物)

住宅

- 所得税(H31.6まで)
- 固定資産税(H30.3まで)

耐震改修工事に係る標準的な工事費用相当額の10%相当額(上限25万円)を所得税から控除

※特に重要な避難路沿道にある住宅は、2年間1/2減額に拡充

◇建築物(耐震診断義務付け対象) <H26年4月1日より>

- 法人税・所得税
- 固定資産税

取得価額の25%の特別償却(H27.3.31までに耐震診断の結果報告を行った者が、報告日以後5年間までに耐震改修を行った場合)

2年間1/2減額(耐震診断の結果報告を行った者が、政府の補助を受けて、H26.4.1~H29.3.31の間に耐震改修を行った場合)

◇住宅金融支援機構による融資制度

個人向け

- 融資限度額: 1,000万円(住宅部分の工事費の80%が上限)
- 金利: 償還期間10年以内1.03%、11年以上20年以内1.23%(H27.12.1現在)

マンション・管理組合向け

- 融資限度額: 原則として500万円/戸(共用部分の工事費の80%が上限)
- 金利: 原則として償還期間10年以内0.76%(H27.12.1現在)

本林部口: 国土交通省住宅局市街地建築課市街地住宅整備課(企画係) TEL: 03-5253-8517 (直通)

高知県第3期産業振興計画 林業分野（暫定版）

高知県林業振興・環境部より第3期産業振興計画（暫定版）の内容が発表されましたので、資料を添付します。

林業分野の展開イメージ ～山で若者が働く、全国有数の国産材産地～

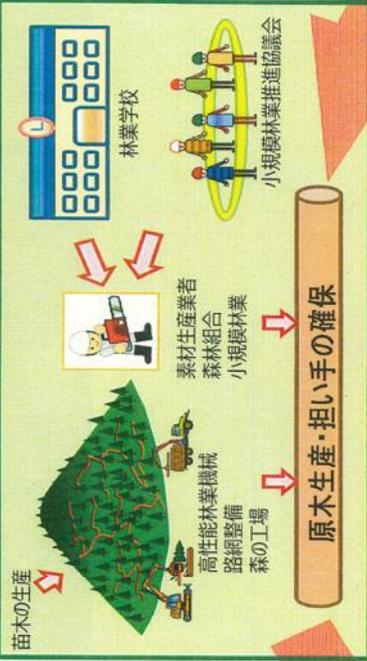
分野を代表する目標

木材・木製品製造品出荷額等 現状 (H26) 204億円⇒4年後 (H31) 220億円⇒6年後(H33)232億円⇒10年後 (H37) 256億円
原木生産量 現状 (H26) 61万m3⇒4年後 (H31) 78万m3⇒6年後(H33)81万m3⇒10年後 (H37) 90万m3

柱1 原木生産のさらなる拡大

- 生産性の向上による原木の増産
 - ◆森の工場の拡大・推進
 - ◆効率的な生産システムの導入を促進
 - ・高性能林業機械等の導入
 - ・路網の整備
 - ◆皆伐の促進
 - ◆原木の安定供給システムの構築
- 持続可能な森林づくり
 - ◆【新規】苗木の生産体制の強化
 - ◆再造林への支援と低コスト育林の推進
 - ◆間伐の推進

構築した川上から川下までの仕組みを生かして、“森の資源”を余すことばく活用



柱5 担い手の育成・確保

- 林業学校の充実、強化
 - ◆林業学校における人材育成
 - ◆森林組合等の県内事業者への雇用促進
- きめ細かな担い手確保の強化
 - ◆林業労働力確保支援センターと連携した就業者の確保
 - ◆特用林産業新規就業体の支援
 - ◆移住施策との連携
- 事業者の経営基盤の強化
 - ◆事業者のマネジメント能力向上
 - ◆事業者における就労環境の改善
- 小規模林業の推進
 - ◆【拡充】小規模林業の活動を支援

拡大再生産へ！

柱4 木材需要の拡大

- 住宅・低層非住宅建築物等での木材利用の促進
 - ◆【新策】低層非住宅建築物の木造化促進
 - ◆県産材を活用した木造住宅建築の促進
- CLTの普及
 - ◆CLT建築物の需要拡大

林業・木材産業 クラスタの形成

柱2 加工体制の強化

- ラミナ製材工場の稼働開始
 - ◆高次加工施設の整備
 - ◆【新規】集成材工場の整備
 - ◆CLTパネル工場の整備
- 製材工場の強化
 - ◆製材所の加工力強化
 - ◆県内企業による協業化・大型化の検討

柱3 流通・販売体制の確立



林業分野の体系図

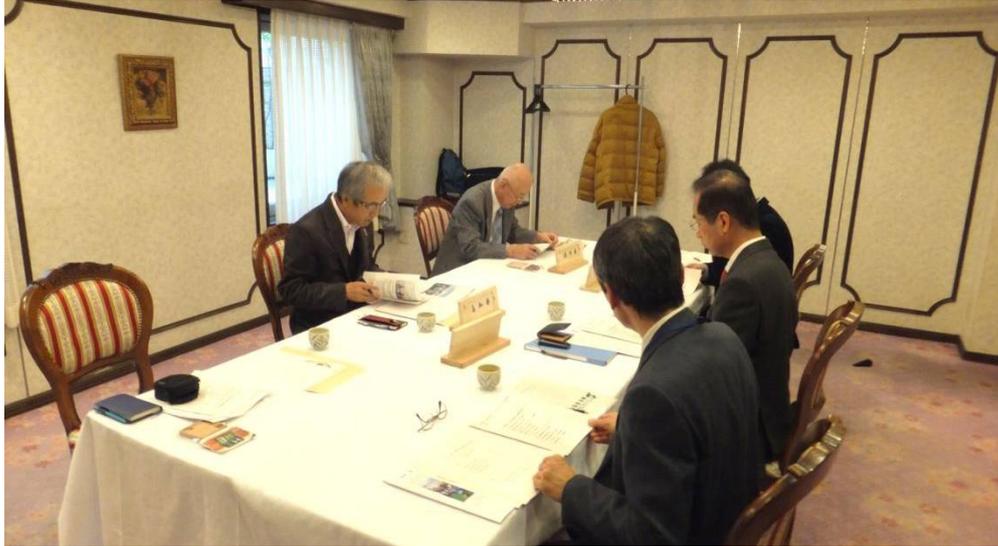
○分野を代表する数値目標及び戦略目標については、暫定値です。
 ○今後、関係者の皆様やフロンティア・アップ委員会等のご意見を踏まえ、最終案をとりまとめ、3月のフロンティア・アップ委員会でご議論のうえ、正式に決定します。

| | |
|-------------|--|
| 分野の目指す姿 | ○ 山で若者が働く、全国有数の国産材産地 |
| 分野を代表する数値目標 | 木材・木製品製造品出荷額等 現状(H26):204億円⇒4年後(H31):220億円⇒6年後(H33):232億円⇒10年後(H37):256億円 原木生産量 現状(H26):61万m3⇒4年後(H31):78万m3⇒6年後(H33):81万m3⇒10年後(H37):90万m3 |

| 戦略の柱 | 1 原木生産のさらなる拡大 | 2 加工体制の強化 | 3 流通・販売体制の確立 | 4 木材需要の拡大 | 5 担い手の育成・確保 |
|----------|---|---|---|--|---|
| 戦略の方向性 | ・成熟した森林資源を最大限に生かせる仕組みづくりを推進する | ・消費者ニーズに対応した競争力の高い加工事業体を育成する ・CLT/パネル工場をはじめとする林業・木材産業クラスターの形成を目指す | ・大消費地や海外をターゲットとした、組織的・継続的な外商活動を展開する | ・低層非住宅の木造化等により飛躍的な需要拡大を図る ・木質バイオマスの利用拡大を促進する | ・優れた人材を育成・確保する |
| 戦略目標 | ・森の工場からの原木生産量(間伐)の拡大 ⑥:10.2万m3 → ⑦:15.1万m3 → ⑧:15.3万m3 → ⑨:17.0万m3 | ・県産製材品の出荷量の増加 ⑥:23.3万m3 → ⑦:27.4万m3 → ⑧:28.4万m3 | ・県産製材品の県外出荷量の増加 ⑥:□16.1万m3 → ⑦:□20.1万m3 → ⑧:★0.0万m3 ★0.1万m3 ⑨:□19.7万m3 → ⑩:□15.8万m3 ★1.5万m3 ★5.4万m3 (□:一般製材品 ★:高次加工品) | ・木質バイオマス利用量の増加 ⑥:35.6万トン → ⑦:57.3万トン → ⑧:58.0万トン → ⑨:60.6万トン | ・林業就業業者数の増加 ⑥:1,602人 → ⑦:1,747人 → ⑧:1,777人 → ⑨:1,870人 ・新規雇用業者数の増加(川下・累計) ⑥:32人 → ⑦:58人 → ⑧:96人 |
| 取組方針(主な) | 1. 生産性の向上による原木の増産 ◆ 森の工場の拡大、推進 ◆ 効率的な生産システムへの導入を促進 ◆ 皆伐の促進 ◆ 原木の安定供給システムの構築 2. 持続可能な森林づくり ◆ [新規]苗木の生産体制の強化 ◆ 苗木生産での企業立地 ◆ 兼活動センター等での生産を推進 ◆ 再造林への支援と低コスト育林の推進 ◆ 間伐の推進 | 1. 製材工場の強化 ◆ 製材所の加工力強化 ◆ 県内企業による協業化・大型化の検討 2. 高次加工施設の整備 ◆ [新規]集成材工場の整備 ◆ 構造用集成材の製造 ◆ CLT/パネル工場の整備 3. 林業・木材産業クラスターの形成 ◆ 加工施設を中心としたクラスター形成の促進 | 1. 流通の統合・効率化 ◆ 県外流通拠点を活用した取引の拡大 ◆ トレーラー等による低コスト・定期輸送の増加 ◆ 外商活動体制の技術強化 2. 販売先の拡大 ◆ 県外での土佐材を使用した建築の推進 ◆ [拡充]海外への販売促進 ◆ 商談、サンプル出荷 | 1. 住宅・低層非住宅建築物等での木材利用の促進 ◆ [新規]低層非住宅の木造化促進 ◆ 事例集の作成、施主へのPR ◆ 全国への販売展開 ◆ 県産材を活用した木造住宅建築の促進 2. CLTの普及 ◆ CLT建築物の需要拡大 3. 木質バイオマスの利用拡大 ◆ 木質バイオマス発電の促進 ◆ 幅広い分野での木質バイオマスボイラー導入の拡大 ◆ 木質ペレット等の安定供給の促進 | 1. 林業学校の充実、強化 ◆ 林業学校における人材育成 ◆ 森林組合等の県内事業者への雇用促進 2. きめ細かな担い手確保の強化 ◆ 林業労働力確保支援センターと連携した就業者の確保 ◆ 特用林産業新規就業者の支援 ◆ 移住施策との連携 3. 事業者の経営基盤の強化 ◆ 事業者のマネジメント能力向上 ◆ 事業者における就労環境の改善 4. 小規模林業の推進 ◆ [拡充]小規模林業の活動を支援 ◆ 林地集約化による施業地の確保 |

全国木材組合連合会四国支部事務局担当者会議

平成 27 年 12 月 2 日（水）愛媛県松山市（東京第一ホテル松山）に参加しました。



翌 12 月 3 日（木）は愛媛県内の木質化事業を現地視察しました。



松山空港の待合室木質化事業



愛媛県林業会館



空港ベンチ



南海放送の放送室内部木質化

木材産業振興・産業技術功労受賞者 祝賀会

全国木材産業振興大会（10/28）及び高知県産業技術功労表彰（11/23）に於いて表彰された方々のお祝いです。平成27年12月8日（火）高知会館にて5人の方の受賞をお祝いしました。



林野庁長官感謝状
溝渕 浩一 様
(溝渕林産興業株式会社)



全木連会長表彰状
笹岡 輝久 様
(有限会社笹岡製材所)



前大会以降退任団体長表彰
北岡 浩 様
(高知県木材協会顧問)



全木協連会長表彰状
山本 和夫 様
(有限会社セト青柳工芸)



高知県産業技術功労表彰
池 龍昇 様
(株式会社土佐龍)

四国地区広域原木流通協議会ブロック研修

平成 27 年 12 月 8 日サンピアで実施された研修会に参加しました。

翌日の 9 日は土佐グリーンパワー（バイオマス発電所・高知市仁井田）を見学しました。



説明会資料を転写

J A S 資格者養成研修会

平成 28 年 1 月 13 日（水）サンピア高知、14 日（木）ちより街テラスで実施。

一般社団法人全国木材検査・研究協会主催の製材 J A S 資格者養成等研修会が高知市で 2 日間にわたり開催されました。

四国以外にも愛知・兵庫・広島からの参加者もあり、更新 46 名、新規 12 名の計 58 名が受講し、当日に終了証書が授与されました。



サポート事業経営セミナー

平成 28 年 1 月 15 日（金）春野ピアステージで実施。参加者 47 名。

韓国への木材輸出をテーマに 2 人の講師によって、実際の経験やこれからの展望を聴くことができました。平成 28 年度は高知県も「県産材輸出チャレンジ支援事業」を展開していきます。



土佐材流通促進協議会

1. 展示会事業(丸宇木材市売株式会社下館市場 第6回土佐材展示会)



土佐材流通促進協議会が始まった時から流通拠点としてお世話になっている丸宇さん。
年に一度の土佐材展示会も回を重ねて6回目となりました。



平成 27 年 11 月 27 日 (金)

茨城県下妻市半谷

丸宇木材市売株式会社 下館市場

展示品：杉・桧 一般材・役物 約 270 m³

来客数：約 70 人

販売実績：約 250 m³

販売金額：約 1,500 万円



2.消費地商談会事業(NPO 法人ひょうご新民法 21 12月例会)

高知県大阪事務所からの紹介により、兵庫県で活動する工務店グループの会に参加し、土佐材の良さをアピールしてきました。

開催日：平成 27 年 12 月 15 日(火) 場所：神戸市中央区雲井通サンパル 工務店数：8 社



3.消費地商談会事業(NPO 法人住宅長期保証支援センター 会員勉強会)

上記と同じく、大阪府で活動する工務店グループの会に参加し、土佐材の良さをアピールしてきました。

開催日：平成 27 年 12 月 17 日(木) 場所：大阪市中央区 エルおおさか 工務店数：5 社



今後の消費地商談会予定

- ① 京都府建築工業協同組合理事会 平成 28 年 2 月 5 日(金)
- ② 「土佐の自然素材で家づくり商談会」in 広島 平成 28 年 3 月 10 日(木)

住宅着工情報

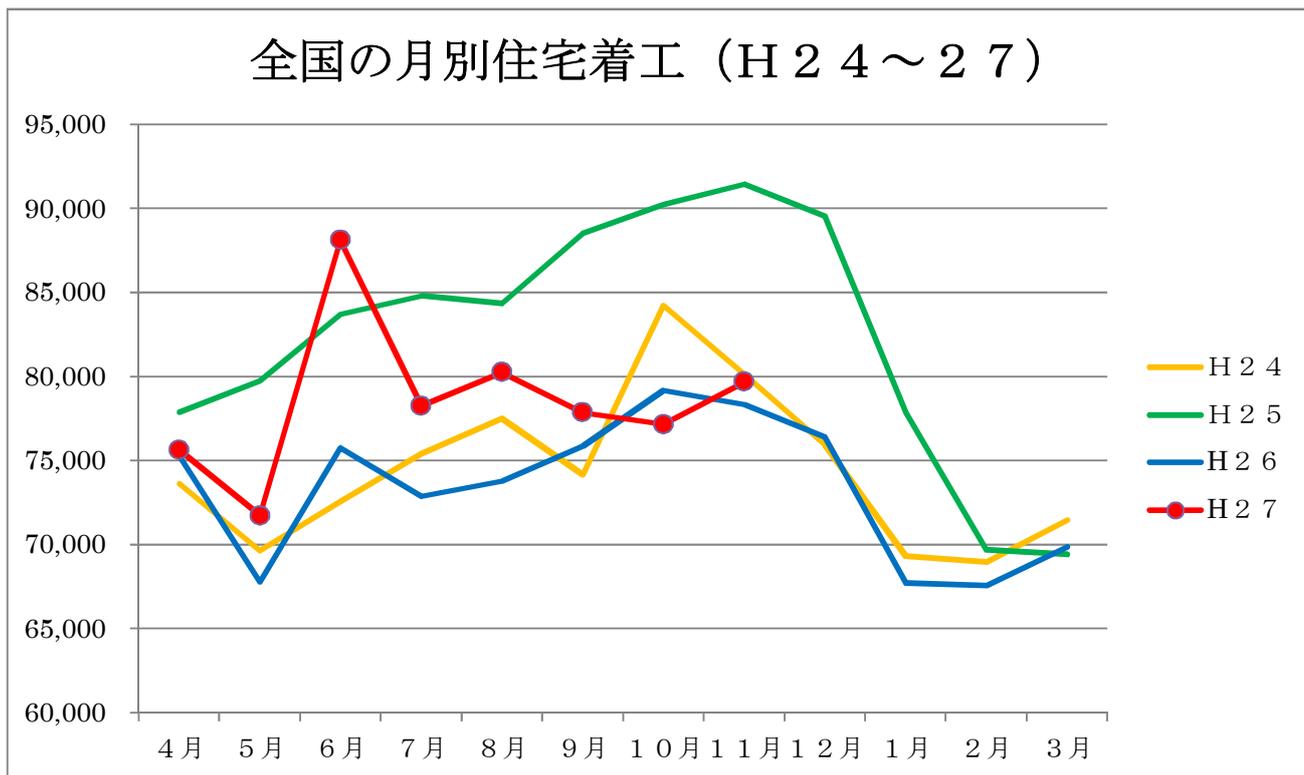
資料 (1) 全国住宅着工数

平成27年 11月分着工新設住宅戸数：利用関係別・都道府県別表

(単位：戸、%)

| | 総数 | | 持家 | | 貸家 | | 給与 | | 分譲 | | うちマンション | | うち一戸建 | |
|-------|--------|------------|--------|------------|--------|------------|-----|------------|--------|------------|---------|------------|--------|------------|
| | 戸数 | 対前年 同月比 | 戸数 | 対前年 同月比 | 戸数 | 対前年 同月比 | 戸数 | 対前年 同月比 | 戸数 | 対前年 同月比 | 戸数 | 対前年 同月比 | 戸数 | 対前年 同月比 |
| 北海道 | 3,155 | -8.9 | 1,025 | 2.4 | 1,762 | -13.2 | 7 | -75.9 | 361 | -11.1 | 167 | -28.6 | 194 | 12.8 |
| 青森 | 466 | -17.5 | 270 | -0.7 | 144 | -42.6 | 11 | - | 41 | -2.4 | 0 | 0.0 | 41 | -2.4 |
| 岩手 | 773 | 18.9 | 419 | 18.0 | 322 | 24.3 | 9 | 200.0 | 23 | -30.3 | 0 | 0.0 | 23 | -30.3 |
| 宮城 | 1,931 | -37.3 | 709 | 27.3 | 901 | -42.4 | 13 | -93.4 | 308 | -59.7 | 33 | -93.8 | 275 | 17.5 |
| 秋田 | 230 | -20.4 | 150 | -9.6 | 60 | -31.0 | 0 | -100.0 | 20 | -42.9 | 0 | 0.0 | 20 | -42.9 |
| 山形 | 515 | 10.8 | 270 | 13.4 | 180 | 0.6 | 0 | -100.0 | 65 | 41.3 | 0 | 0.0 | 65 | 41.3 |
| 福島 | 1,231 | -8.3 | 607 | -18.1 | 445 | -9.4 | 51 | 325.0 | 128 | 30.6 | 0 | 0.0 | 128 | 30.6 |
| 茨城 | 1,661 | -5.7 | 764 | -7.7 | 662 | -7.7 | 8 | 33.3 | 227 | 7.6 | 0 | 0.0 | 227 | 7.6 |
| 栃木 | 1,093 | -1.4 | 543 | -2.7 | 377 | -4.3 | 0 | -100.0 | 173 | 12.3 | 0 | 0.0 | 173 | 12.3 |
| 群馬 | 1,143 | -2.1 | 529 | -13.7 | 450 | 20.3 | 0 | -100.0 | 164 | 8.6 | 0 | 0.0 | 164 | 8.6 |
| 埼玉 | 5,195 | 4.0 | 1,339 | -5.4 | 2,156 | 13.8 | 2 | -87.5 | 1,698 | 1.7 | 438 | -6.8 | 1,260 | 8.1 |
| 千葉 | 4,959 | 19.1 | 1,297 | 9.4 | 1,926 | 7.8 | 3 | -50.0 | 1,733 | 46.1 | 756 | 268.8 | 973 | -0.8 |
| 東京 | 10,326 | -6.8 | 1,428 | 0.6 | 4,802 | 8.0 | 93 | -86.6 | 4,003 | -11.5 | 2,293 | -18.2 | 1,679 | 1.1 |
| 神奈川 | 7,165 | -6.7 | 1,546 | -3.1 | 2,590 | -23.4 | 0 | -100.0 | 3,029 | 13.5 | 1,537 | 33.2 | 1,401 | -5.0 |
| 新潟 | 1,118 | 10.1 | 519 | 7.7 | 398 | 3.1 | 8 | -79.5 | 193 | 78.7 | 131 | 98.5 | 62 | 47.6 |
| 富山 | 594 | 28.0 | 298 | 8.8 | 251 | 69.6 | 3 | -72.7 | 42 | 35.5 | 0 | 0.0 | 42 | 35.5 |
| 石川 | 772 | 21.6 | 341 | 24.9 | 310 | 3.7 | 4 | 300.0 | 117 | 88.7 | 50 | - | 67 | 8.1 |
| 福井 | 315 | 6.4 | 170 | -4.5 | 110 | 26.4 | 1 | 0.0 | 34 | 13.3 | 0 | 0.0 | 34 | 13.3 |
| 山梨 | 407 | 21.5 | 258 | 16.7 | 125 | 43.7 | 0 | 0.0 | 24 | -11.1 | 0 | 0.0 | 24 | -11.1 |
| 長野 | 974 | 0.7 | 630 | 3.8 | 234 | -17.0 | 5 | 0.0 | 105 | 43.8 | 0 | 0.0 | 105 | 43.8 |
| 岐阜 | 1,076 | 5.7 | 620 | 15.5 | 326 | 14.0 | 24 | - | 106 | -45.6 | 0 | -100.0 | 106 | -3.6 |
| 静岡 | 2,280 | 29.8 | 1,231 | 24.3 | 689 | 44.4 | 27 | 350.0 | 333 | 17.7 | 65 | 8.3 | 268 | 20.2 |
| 愛知 | 4,487 | 3.1 | 1,554 | -9.9 | 1,754 | 6.9 | 10 | 900.0 | 1,169 | 18.7 | 249 | -9.8 | 920 | 29.8 |
| 三重 | 948 | 11.5 | 444 | 0.0 | 410 | 45.9 | 2 | 100.0 | 92 | -25.8 | 0 | -100.0 | 92 | -13.2 |
| 滋賀 | 720 | 3.4 | 383 | 12.0 | 237 | 63.4 | 1 | -88.9 | 99 | -50.5 | 0 | -100.0 | 99 | -9.2 |
| 京都 | 1,451 | 10.0 | 423 | 18.5 | 519 | -9.9 | 1 | -83.3 | 508 | 33.7 | 236 | 58.4 | 272 | 17.7 |
| 大阪 | 5,231 | -13.0 | 928 | 12.1 | 2,789 | 15.0 | 1 | -80.0 | 1,513 | -45.1 | 593 | -68.8 | 910 | 7.3 |
| 兵庫 | 3,191 | -2.3 | 955 | 6.3 | 1,248 | -5.7 | 37 | -43.9 | 951 | -2.8 | 435 | -12.7 | 502 | 4.6 |
| 奈良 | 747 | 63.5 | 241 | 3.0 | 224 | 96.5 | 12 | - | 270 | 147.7 | 148 | - | 122 | 11.9 |
| 和歌山 | 537 | 21.5 | 269 | 4.3 | 214 | 45.6 | 1 | - | 53 | 43.2 | 0 | 0.0 | 53 | 43.2 |
| 鳥取 | 230 | -6.1 | 123 | 16.0 | 100 | 37.0 | 0 | 0.0 | 7 | -89.4 | 0 | -100.0 | 7 | -12.5 |
| 島根 | 278 | -3.1 | 128 | -1.5 | 90 | -41.2 | 1 | 0.0 | 59 | 1,866.7 | 56 | - | 3 | 0.0 |
| 岡山 | 1,082 | 37.3 | 474 | 29.2 | 535 | 45.0 | 0 | -100.0 | 73 | 69.8 | 0 | 0.0 | 73 | 69.8 |
| 広島 | 1,383 | 6.0 | 510 | 6.5 | 544 | -12.0 | 0 | 0.0 | 329 | 58.2 | 96 | 118.2 | 233 | 42.1 |
| 山口 | 758 | 18.6 | 256 | -15.5 | 319 | 4.2 | 3 | - | 180 | 500.0 | 138 | - | 42 | 40.0 |
| 徳島 | 434 | 40.5 | 191 | 27.3 | 182 | 33.8 | 0 | -100.0 | 61 | 177.3 | 33 | - | 28 | 27.3 |
| 香川 | 470 | -14.5 | 261 | -14.7 | 172 | -21.8 | 4 | 300.0 | 33 | 43.5 | 0 | 0.0 | 33 | 43.5 |
| 愛媛 | 513 | -7.9 | 297 | 1.7 | 140 | -39.1 | 0 | -100.0 | 76 | 123.5 | 32 | - | 44 | 29.4 |
| 高知 | 311 | 9.1 | 118 | -11.9 | 119 | -2.5 | 2 | -33.3 | 72 | 176.9 | 45 | - | 27 | 3.8 |
| 福岡 | 4,254 | 55.2 | 846 | 12.6 | 2,040 | 58.5 | 3 | -78.6 | 1,365 | 98.1 | 1,036 | 168.4 | 327 | 7.9 |
| 佐賀 | 503 | 48.8 | 189 | -5.5 | 296 | 133.1 | 1 | 0.0 | 17 | 70.0 | 0 | 0.0 | 17 | 70.0 |
| 長崎 | 616 | 30.8 | 236 | 2.2 | 339 | 93.7 | 6 | -66.7 | 35 | -25.5 | 0 | -100.0 | 35 | 52.2 |
| 熊本 | 672 | -15.7 | 333 | -4.9 | 245 | -29.2 | 8 | 60.0 | 86 | -10.4 | 0 | -100.0 | 86 | 30.3 |
| 大分 | 713 | 84.2 | 236 | 29.7 | 307 | 78.5 | 2 | - | 168 | 409.1 | 116 | - | 52 | 57.6 |
| 宮崎 | 519 | -19.5 | 314 | 20.3 | 165 | -49.1 | 2 | -33.3 | 38 | -33.3 | 0 | -100.0 | 38 | -5.0 |
| 鹿児島 | 964 | -12.8 | 385 | -8.3 | 481 | -7.7 | 7 | -22.2 | 91 | -41.7 | 0 | -100.0 | 91 | 23.0 |
| 沖縄 | 1,306 | 7.4 | 253 | 22.2 | 816 | -10.9 | 6 | - | 231 | 148.4 | 197 | 152.6 | 34 | 126.7 |
| 合計 | 79,697 | 1.7 | 25,310 | 3.5 | 33,505 | 2.6 | 379 | -69.6 | 20,503 | 2.5 | 8,880 | -4.1 | 11,471 | 8.2 |
| 北海道 | 3,155 | -8.9 | 1,025 | 2.4 | 1,762 | -13.2 | 7 | -75.9 | 361 | -11.1 | 167 | -28.6 | 194 | 12.8 |
| 東北 | 5,146 | -19.5 | 2,425 | 4.1 | 2,052 | -27.5 | 84 | -60.9 | 585 | -42.5 | 33 | -93.8 | 552 | 13.1 |
| 関東 | 32,923 | -1.0 | 8,334 | -1.3 | 13,322 | -0.3 | 111 | -86.0 | 11,156 | 4.6 | 5,024 | 8.5 | 6,006 | 1.8 |
| 北陸 | 2,799 | 16.1 | 1,328 | 10.0 | 1,069 | 16.2 | 16 | -69.2 | 386 | 67.1 | 181 | 174.2 | 205 | 24.2 |
| 中部 | 8,791 | 10.2 | 3,849 | 4.2 | 3,179 | 18.4 | 63 | 687.5 | 1,700 | 7.1 | 314 | -28.5 | 1,386 | 20.7 |
| 近畿 | 11,877 | -2.6 | 3,199 | 9.7 | 5,231 | 10.6 | 53 | -38.4 | 3,394 | -23.9 | 1,412 | -46.5 | 1,958 | 7.9 |
| 中国 | 3,731 | 14.3 | 1,491 | 7.7 | 1,588 | 4.5 | 4 | -60.0 | 648 | 85.1 | 290 | 184.3 | 358 | 44.4 |
| 四国 | 1,728 | 1.6 | 867 | -1.7 | 613 | -13.4 | 6 | 0.0 | 242 | 130.5 | 110 | - | 132 | 25.7 |
| 九州 | 8,241 | 27.1 | 2,539 | 6.0 | 3,873 | 31.2 | 29 | -42.0 | 1,800 | 65.4 | 1,152 | 116.1 | 646 | 17.7 |
| 沖縄 | 1,306 | 7.4 | 253 | 22.2 | 816 | -10.9 | 6 | - | 231 | 148.4 | 197 | 152.6 | 34 | 126.7 |
| 首都圏 | 27,645 | -1.0 | 5,610 | -0.1 | 11,474 | -0.3 | 98 | -86.9 | 10,463 | 4.1 | 5,024 | 8.5 | 5,313 | 0.6 |
| 中部圏 | 8,791 | 10.2 | 3,849 | 4.2 | 3,179 | 18.4 | 63 | 687.5 | 1,700 | 7.1 | 314 | -28.5 | 1,386 | 20.7 |
| 近畿圏 | 11,877 | -2.6 | 3,199 | 9.7 | 5,231 | 10.6 | 53 | -38.4 | 3,394 | -23.9 | 1,412 | -46.5 | 1,958 | 7.9 |
| その他地域 | 31,384 | 3.7 | 12,652 | 3.4 | 13,621 | -0.8 | 165 | -59.4 | 4,946 | 26.6 | 2,130 | 38.0 | 2,814 | 19.3 |

資料 (2) 全国の月別新設住宅着工(24年～27年11月まで)



平成 27 年 11 月の全国の新設住宅着工数は 79,697 戸 (2.6%増) で前年より増加した。
 平成 27 年 1 月～11 月までで 833,847 戸、平成 27 年計は 90 万前後と前年を若干上回る見込みだ。
 持ち家 (注文住宅) は、前年同月比では 3.5%増の 25,310 戸となった。
 市場をけん引していた貸家は前年同月比 2.6%増の 33,505 戸でプラス推移しているが次第に軟調になっている。分譲住宅は前年同月比 2.5%増の 20,503 戸で一戸建てが 8.2%増の 11,471 戸、マンションが前年同月比 4.1%減の 8,880 戸となった。分譲マンションは基礎杭の不正問題など消費者の心理にマイナス影響を与える事件もあり、今後様子見感が広まる可能性がある。
 平成 28 年の新築住宅着工数は、消費税増税を前提に 27 年とほぼ横ばいの 90 万戸前後となる見込み。



平成 28 年 9 月 30 日

平成 29 年 4 月 1 日

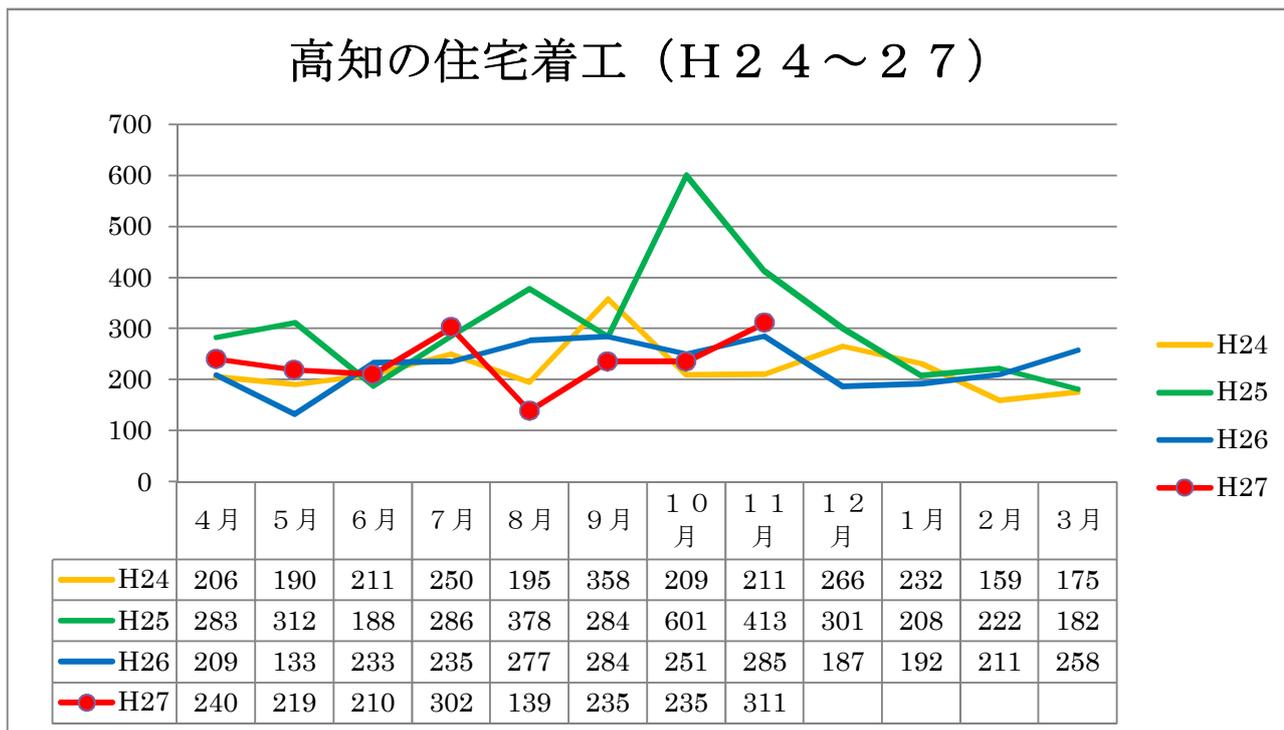
消費税 10%が掛かるのは？

住宅については、原則引き渡し日を基準に税率が決定しますが、税率引き上げの半年前の前日 (平成 28 年 9 月 30 日) までに契約したものについては、仮に引き渡し日が税率引き上げ (平成 29 年 4 月 1 日) 以降になっても引き上げ前の税率 (8%) が適応されます。

請負契約締結



資料(3) 高知県の月別新設住宅着工数(平成 24～27 年 11 月まで)

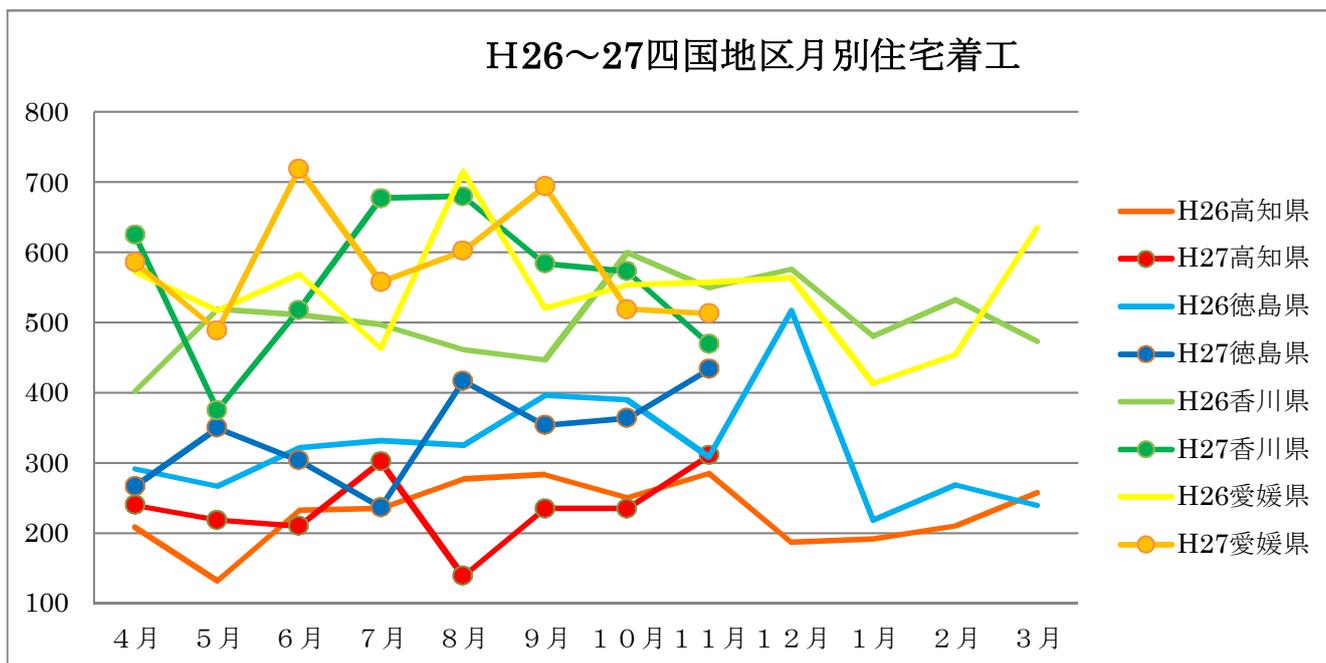


高知県の平成 27 年度の住宅着工数は、10 月が前年度比 6.4%減の 235 戸だったが、11 月は同 9.1%増の 311 戸と 4 ヶ月ぶりに前年同月比を上まわった。

持ち家は、10 月は 11.3%増の 138 戸だったが、11 月は同 11.9%減の 118 戸と減少した。貸家は、10 月は前年同月比 17.5%減の 80 戸だったが、11 月も同 2.5%減の 119 戸と若干減少している。

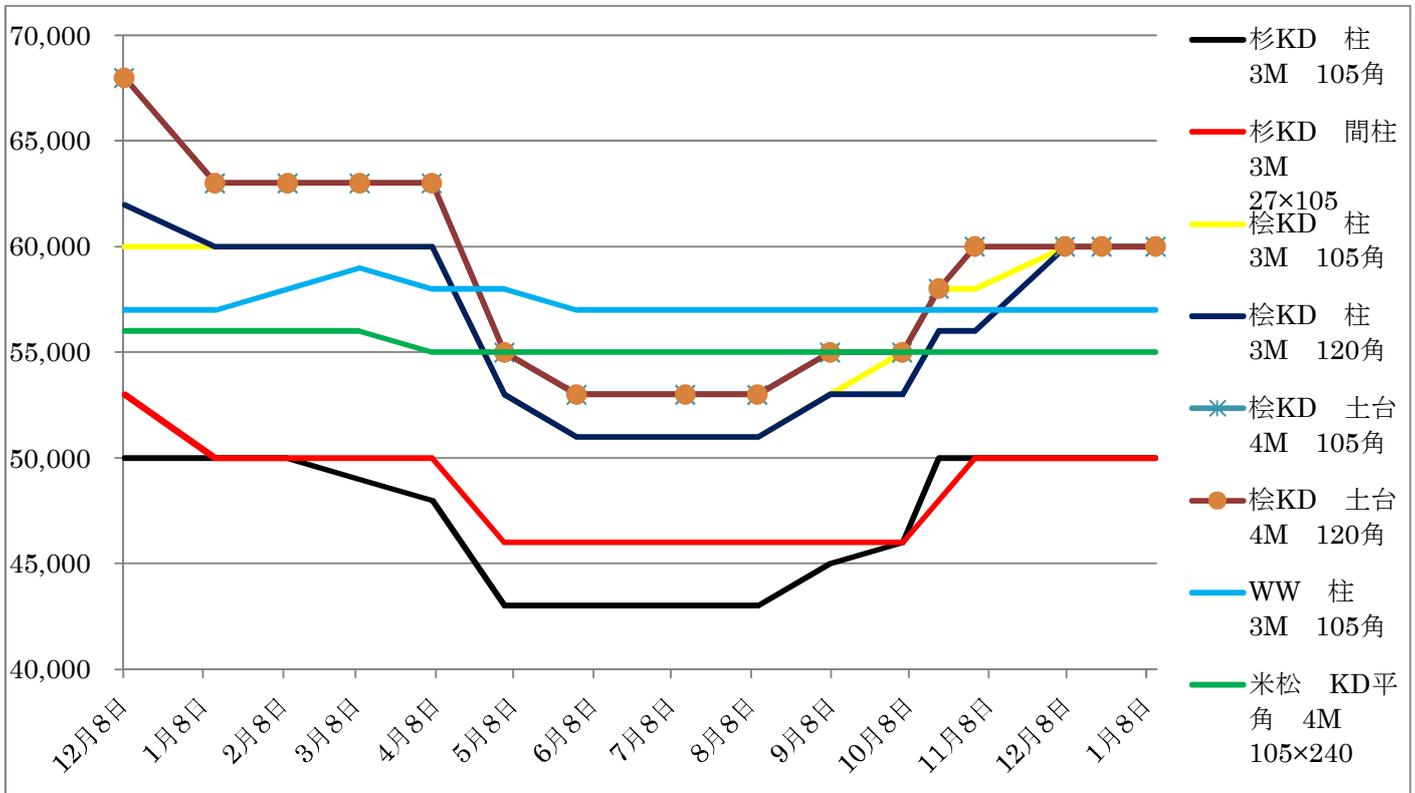
分譲は 10 月が同 39.3%減の 17 戸だったが、11 月は同 176.9%増の 72 戸となっていて、内訳は分譲マンションが 45 戸、分譲住宅が 27 戸となった。今後、年度末にかけては、前年並みに推移する様相。

資料(4) 四国の月別新設住宅着工数(平成 26～27 年 11 月まで)



木材価格情報

資料(5) 製品市況 関東市売り場(26年12月～28年1月8日まで)



(備考：桧KD土台 4M 105角 と 桧KD土台 4M 120角 は同価格の為、グラフが重なって見えます。)

平成 28 年 1 月の国産材製品市況は、プレカット工場では年度末完成に向けて年明け以降も忙しい状態が続いている一方で、市場問屋の商いは年末の駆け込み需要が少なく、当用買いに徹している。

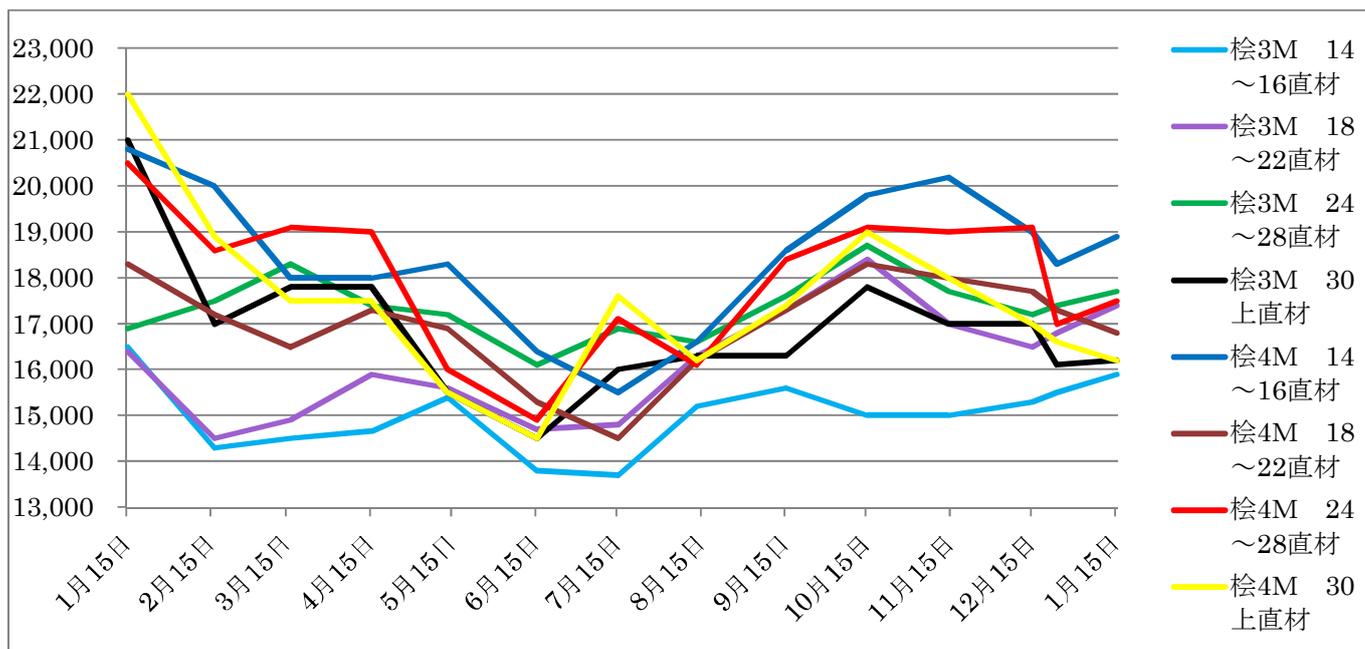
構造材は桧 KD 土台角、杉 KD 柱角とも荷動きは低調で、羽柄材は杉 KD 間柱を中心に引き合いは多いが、価格上昇までの力強さはない。

造作材も引き合いは緩やかに回復基調にあるが、全体的にはまだまだ弱く、製品価格は伸び悩んでいる。



写真は丸宇木材市売 11/27

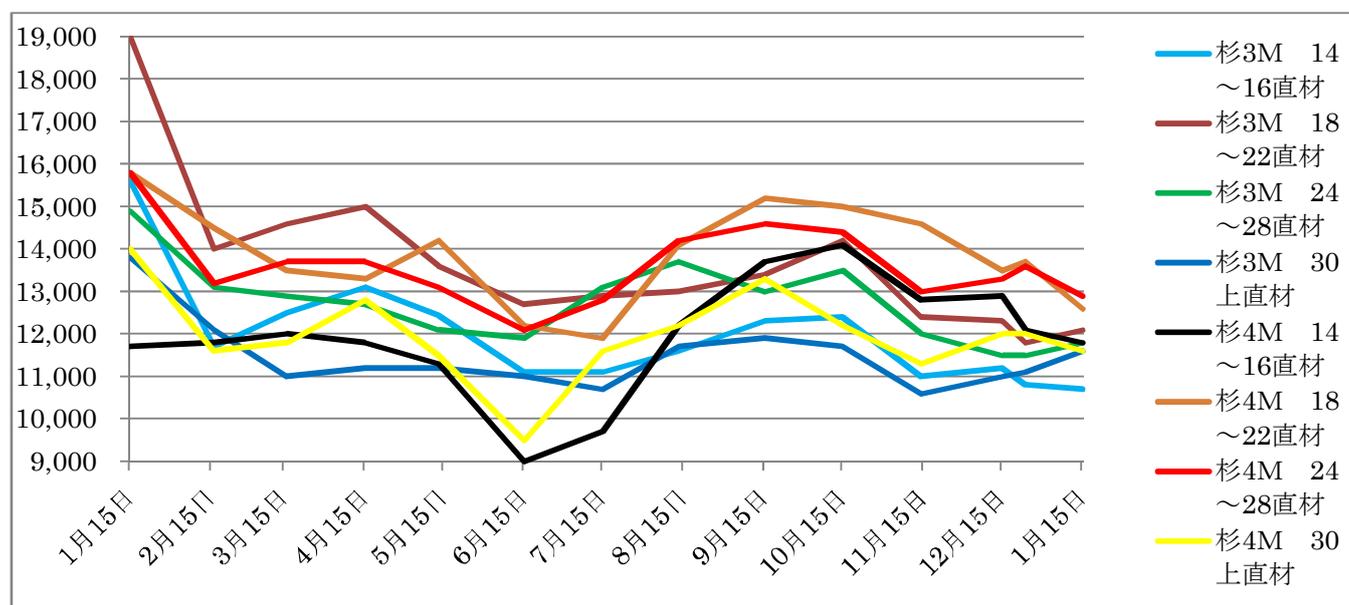
資料(6) 平成 27 年丸太市況 桧 3~4M (久万広域森林組合分) 平成 28 年 1 月 15 日まで



平成 28 年 1 月の桧丸太価格は、秋口から伐採期にはいり、例年なら降雪などの影響で出材が減る時期だが、天候も良く出材も安定している。

全国的には一般材は出材増や製品需要が低調なことにより、全体的に弱保合で推移しているが、四国ではバイオマス等が下支えしており他産地に比べて居所高で推移している。3M 柱口は弱保合、柱よりも動きの良い土台取り 4M 材は買い気があり保合、小丸太は若干強めで推移している。

資料(7) 平成 27 年丸太市況 杉 3~4M (久万広域森林組合分) 平成 28 年 1 月 15 日まで



平成 27 年 11 月の杉丸太価格は、秋口から伐採期にはいり、例年なら降雪などの影響で出材が減る時期だが、天候も良く出材も安定している。

全国的には一般材の出材増や製品需要が一部羽柄材を除いて低調なことにより、全体的に弱保合で推移しているが、四国ではバイオマス等が下支えしており他産地に比べて居所高で推移している。3M・4M 材は保合、小丸太は若干強めで推移している。

1月の商況

平成28年1月の商況は、プレカットの受注状況が11月中から本格稼働し、12月にピークを迎え、年明けも高稼働を維持している。しかし、需要は非常に緩やかで製品相場は一部製品を中心に引き合いは多いものの、相場を押し上げるほどの勢いは感じられない。

昨年末は天候も良く、丸太の出材増で多少価格が下がってきている。製材メーカーとしては段階的に値上げしたい姿勢をみせているが、競合する構造用集成材や米松製品の価格が横ばいのため、流通川下にはそれを受け入れるだけの勢いはない。相場は保合となり苦戦が続いている。国産材製品市場は今年の駆け込み需要に期待している。

(1) 丸太相場

国産材丸太相場は伐採シーズンを迎え、例年なら降雪などの影響で出材が減る時期だが、天候も順調なため出材が安定しており、相場も一部小丸太を除き保合～弱保合で推移している。

製品荷動きは年末にかけて若干持ち直したものの、価格の回復までにはならず、製材工場の生産も高まっていない。また輸出用丸太の増加、合板用丸太やバイオマス用丸太の需要拡大もあり、間伐補助予算の減った昨年は製材用丸太の供給不足が懸念されたが、製品需要が低調だったこともあり、一部を除いて大きな問題にはならなかった。

今年は消費増税前の駆け込みや、徳島でバイオマス発電が始まることもあり、昨年以上に丸太の安定供給が望まれる。



久万広域森林組合 1月15日相場表

| | | 杉 | | 桧 | |
|------|-------|--------|--------|--------|--------|
| 長さ | 末口計 | 直 | 曲 | 直 | 曲 |
| 3.00 | 8~11 | 238 | 238 | 312 | 312 |
| | 12 | 7,900 | | 11,800 | |
| | 13 | | 7,900 | | 11,800 |
| | 14 | 9,300 | 8,300 | 13,600 | 12,000 |
| | 16 | 12,100 | 10,800 | 18,100 | 16,000 |
| | 18~22 | 12,100 | 10,200 | 17,400 | 15,100 |
| | 24上 | 11,800 | 9,900 | 17,700 | 13,900 |
| | 30上 | 11,600 | 10,100 | 16,200 | 13,500 |
| 4.00 | 8~11 | 444 | 444 | 464 | 464 |
| | 12 | 12,600 | | 13,600 | |
| | 13 | | 10,300 | | 13,500 |
| | 14~16 | 11,800 | 9,500 | 18,900 | 16,300 |
| | 18~22 | 12,600 | 10,900 | 16,800 | 15,700 |
| | 24上 | 12,800 | 11,400 | 18,900 | 15,900 |
| | 30上 | 11,600 | 10,400 | 16,800 | 16,000 |
| 6.00 | 18上 | 12,500 | 11,000 | 20,000 | 16,000 |

(注) 3桁は本売り 単位m³

(2) 国産材製品相場

プレカット会社などの受注が堅調なのを背景に引き合いがでて
いるが、荷動きは桧土台角や杉羽柄材を除いて依然として低調な
ところがほとんどで、相場は保合を続けている。製材工場の採算を考
えた場合、原木については出材が増えたため、価格が多少下落した
が、バイオマス発電所や合板メーカーが仕入れている地域は下支え
があり、厳しいままだ。



役物も昨年からの和室造作材の売れ行きが急激に悪くなっている。現在はサッシ枠などの板類は価格
が安ければ需要はある。役物は従来の目づまりや木柄やメーカーにこだわる客層が減り、手頃な価格
か否かが判断材料となっている。

| 首都圏市場の木材標準相場表 | | | | | 単位 m ³ | |
|---------------|--------|-------------|----|--------|-------------------|--|
| 品目 | 樹種 | 寸法 | 等級 | 12月 | 1月 | |
| 柱角 | 杉 (KD) | 3M 105mm 角 | 特等 | 50,000 | 50,000 | |
| 間柱 | 杉 (KD) | 3M 30×105mm | 特等 | 50,000 | 50,000 | |
| 柱角 | 桧 (KD) | 3M 105mm 角 | 特等 | 60,000 | 60,000 | |
| 柱角 | 桧 (KD) | 3M 120mm 角 | 特等 | 60,000 | 60,000 | |
| 土台角 | 桧 (KD) | 4M 105mm 角 | 特等 | 60,000 | 60,000 | |
| 土台角 | 桧 (KD) | 4M 120mm 角 | 特等 | 60,000 | 60,000 | |

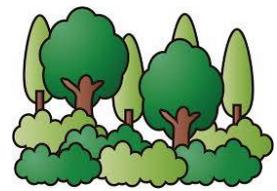
(3) 米材

米国産米松の大手製材向け 1 月積の日本向け輸出価格は前月比 5 ドル値上げとなり、12 月に続き 2
ヶ月連続での値上げになった。中国の丸太輸入は低水準だが、米国経済は好調で推移しているため。カ
ナダ産米松丸太も横ばいで推移している。国内挽き製品は需要期に入り、引き合いは改善しているが、
米松製品相場は全般に横ばいで推移している。また最近、プレカット工場での羽柄材加工が増え、市
場では米松羽柄材の取り扱いが減少傾向にある。米ツガ・米ヒバも保合。

| 首都圏市場の木材標準相場表(国内挽き) | | | | 単位 m ³ | |
|---------------------|--------|--------------|----|-------------------|--------|
| | 樹種 | 寸法 | 等級 | 12月 | 1月 |
| 平角 | 米松 KD | 4M 105×270mm | 特等 | 56,000 | 56,000 |
| 平角 | 米松グリーン | 4M 105×270mm | 特等 | 44,000 | 44,000 |
| 角材 | 米松 KD | 4M 105mm 角 | 特等 | 58,000 | 57,000 |
| タルキ | 米松 KD | 4M 45×45mm | 特等 | 58,000 | 58,000 |
| タルキ | 米松グリーン | 4M 45×105mm | 特等 | 45,000 | 45,000 |
| 注入土台角 | 米ツガ | 4M 105mm 角 | 特等 | 55,000 | 55,000 |
| 首都圏市場の木材標準相場表(輸入品) | | | | 単位 m ³ | |
| 角材 | 米松 KD | 4M 105mm 角 | 特等 | 53,000 | 53,000 |
| タルキ | 米松 KD | 3M 45×90mm | 特等 | 53,000 | 53,000 |
| タルキ | 米松 KD | 4M 45×60mm | 特等 | 54,000 | 54,000 |
| 角材 | 米ツガ | 4M 105mm 角 | 特等 | 52,000 | 51,000 |
| 角材 | 米ヒバ | 4M 105mm 角 | 特等 | 50,000 | 50,000 |

(4) 欧州材・ロシア材

1月の欧州材は、プレカット工場の高稼働に連動し、欧州材相場は強気配となってきた。構造用集成材は、国産中心の動きで、補足するかたちで輸入品の引き合いが強まり、内外産とも安値材から強気配。Wウッド間柱は品薄が続いているが、高値敬遠ムードは変わらず、価格転嫁のピッチはまちまち。ロシア材も品薄が続いているが、相場は横ばいで推移している。



| 首都圏市場の木材標準相場表 | | | | 単位m ³ | |
|---------------|----------|--------------|----|------------------|--------|
| | 樹種 | 寸法 | 等級 | 12月 | 1月 |
| 集成平角（国産） | Rウッド | 4M 105×240mm | 特等 | 57,000 | 57,000 |
| 集成管柱（国産） | Wウッド | 3M 105mm角 | 特等 | 1,830 | 1,830 |
| 間柱（欧州産） | Wウッド（KD） | 3M 27×105mm | 特等 | 51,000 | 51,000 |
| 集成平角（欧州産） | Rウッド | 4M 105×240mm | 特等 | 57,000 | 57,000 |
| 集成管柱（欧州産） | Wウッド | 3M 105mm角 | 特等 | 56,000 | 56,000 |
| ラミナ | Wウッド | 乱尺 | | 35,000 | 35,000 |
| ラミナ | Rウッド | 乱尺 | | 36,000 | 36,000 |
| ロシアタルキ | アカ松 KD | 3.8M 35×35mm | 特等 | 65,000 | 65,000 |
| ロシア胴縁 | アカ松 KD | 3.8M 16×40mm | 特等 | 70,000 | 70,000 |

(5) NZ・チリ材

NZ・チリ材製品の荷動きは年末で動きあるものの、例年に比べ低位にある。特に輸出用梱包、パレット関連は円安定着で大手が現地製造に切り替えており、根本的に需要が落ち込んでいるうえに、安価な杉製品の拡大もあり先行きの好材料は今のところ見当らない。また、ラジアタ松の原木価格も12月積から値上がりし、年明けよりコスト増が顕著化し、国内挽きメーカーは現状価格を維持しながら価格の改定を伺う動きになりそうだ。

| 梱包関連標準相場表 | | | | 単位m ³ | |
|-----------|-------|-------------|----|------------------|--------|
| | 樹種 | 寸法 | 等級 | 12月 | 1月 |
| 割板 | ラジアタ松 | 4M 15×240mm | 特等 | 41,000 | 41,000 |
| 割角 | ラジアタ松 | 4M 27×85mm | 特等 | 39,000 | 39,000 |



(6) 針葉樹合板

国産針葉樹合板はメーカーの出荷増による在庫減で品物不足が台頭。12月に入るとさらに市場のタイト感が強まった。メイン需要者のプレカット工場は高い稼働率となっており、年明けも当分はこの状態が続きそうだ。価格も12mm厚分で、20円高とジリ高となっている。また、国内メーカーは、丸太集荷の段階でバイオマス発電所との競合が拡大しており、コストが上昇しており、価格改定の姿勢を強めている。

| 首都圏針葉樹構造用合板関連相場表 | | | 単位 枚 | |
|------------------|-----|-----------------|-------|-------|
| | 樹種 | 寸法 | 12月 | 1月 |
| 針葉樹構造用合板 | JAS | 12mm 910×1820mm | 870 | 890 |
| 針葉樹構造用合板 | JAS | 15mm 910×1820mm | 1,150 | 1,150 |
| 針葉樹構造用合板 | JAS | 24mm 910×1820mm | 1,700 | 1,720 |
| 針葉樹構造用合板 | JAS | 28mm 910×1820mm | 2,000 | 2,020 |

(7) プレカット

全国の1月のプレカット会社の受注状況は、一服感も見られるが、全体的に例年の1月並みの仕事を確保している状況だ。12月の稼働率は107.0%とピークをむかえ、その繰り越し分から忙しさのあるプレカットも見られるが、1月の全国受注平均は93.6%と月内の受注は減少している。

平成28年2月以降は消費税増税が前提だが、4月までは例年どおり多少落ち込んだ状態が続き、4月以降に駆け込み需要が出始め、9月～年末にかけてピークを迎えるとの見方が大勢をしめている。

1月のプレカット稼働調査（全国平均表） 単位：% （ ）内は前年比

| | 12月（実績） | 1月（受注） | 2月（見込） |
|------|--------------|--------------|--------|
| 北海道 | 127.3（109.0） | 92.0（95.5） | — |
| 東北 | 83.0（115.0） | 100.0（110.0） | — |
| 関東 | 103.6（109.0） | 96.7（113.7） | — |
| 中部 | 94.0（93.0） | 87.0（111.0） | — |
| 関西 | 110.0（103.3） | 100.0（98.3） | — |
| 中国 | 116.5（106.5） | 85.0（129.0） | — |
| 四国 | 111.0（98.5） | 95.0（100.0） | — |
| 九州 | 104.0（90.0） | 90.0（100.0） | — |
| 全国平均 | 106.2（103.0） | 93.7（108.2） | — |



日刊木材新聞・木材建材ウークリー他参照

【トピックスⅠ】 新築着工の住宅戸数、木造住宅戸数の四国地区の県別中期予測

| | |
|---------|---|
| (1) 高知県 | 高知県の住宅着工数は、09～13年の2.9千戸から14～18年は3.2千戸と小幅に増加するものの、19～23年には2.8千戸と減少に転じる。さらに24～28年には1.9千戸と2千戸を下回り、29～33年には1.2千戸まで減少することが見込まれる。木造住宅の着工数も14～18年は2.0千戸と僅かに増加するが、19～23年には1.7千戸と減少に転じ、24～28年は1.1千戸、29～33年には0.7千戸と1千戸を下回るまで減少が続く予測となった。 |
| (2) 徳島県 | 徳島県の住宅着工数は、14～18年に4.0千戸と微増になるものの、以降は減少が続くこととなる。19～23年には2.9千戸に低下し、その後も人口減少を背景として、24～28年に2.0千戸、29～33年には1.5千戸にまで減少する。木造住宅着工数は、14～18年に3.1千戸と小幅に増加するものの、以降は19～23年に2.2千戸、24～28年に1.5千戸、29～33年に1.1千戸と減少が進むことになる。 |
| (3) 香川県 | 香川県の住宅着工数は、09～13年に5.8千戸と減少したが、14～18年は6.4千戸と一時的に増加する見込みである。その後、19～23年には5.1千戸と再び減少に転じ、24～28年は3.8千戸、29～33年は2.9千戸と減少が続くこととなる。木造住宅着工数も全体の住宅着工数に準じた動きとなるが、09～13年の4.0千戸に対して、14～18年は4.3千戸と小幅に増加する。しかし、以降は19～23年に3.4千戸、24～28年に2.5千戸、29～33年には1.9千戸と減少していくとみられる。 |
| (4) 愛媛県 | 愛媛県の住宅着工数は、09～13年実績で7.3千戸と減少した後、14～18年は7.7千戸と微増に転じる。ただし、その後は再び減少となり、19～23年5.6千戸に落ち込むと、24～28年も3.8千戸と減少が続く。さらに、29～33年には2.6千戸にまで落ち込むことが見込まれる。木造住宅着工数は、全体の住宅着工に連動した動きとなり、14～18年には5.3千戸と増加するが、19～23年に3.8千戸、24～28年に2.6千戸、29～33年には1.7千戸に減少する予測となった。 |

四国地方の要因分解

四国地方の住宅着工の変化の要因では、4県とも人口や世帯数の減少が新築着工を大きく左右している傾向が浮かび上る。そこで、四国地方の人口変化をみると、社会的増減として地域間の人の移動が人口減少の一因となっていることが分かる。四国地方は人工流出の状態が長く続いており、流出先は関東と近畿が多い。四国も他地域と同様に、進学や就職で都市部に流出する若者が多く、彼らはそのまま都市部で結婚や出産などを迎える。その結果、住宅需要は都市部で高まる一方、地方では人口減少と高齢化が加速し、住宅需要は減少となる。

四国地方の予測

| | 高知県 | | 徳島県 | | 香川県 | | 愛媛県 | |
|-------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| | 住宅着工数 (戸/年) | 木造住宅着 工数(Ⅱ) | 住宅着工数 (戸/年) | 木造住宅着 工数(Ⅱ) | 住宅着工数 (戸/年) | 木造住宅着 工数(Ⅱ) | 住宅着工数 (戸/年) | 木造住宅着 工数(Ⅱ) |
| 2008年 | 4,580 | 2,113 | 4,777 | 2,881 | 7,621 | 4,371 | 10,794 | 5,986 |
| 2013年 | 2,944 | 1,911 | 3,820 | 2,983 | 5,805 | 4,015 | 7,345 | 5,094 |
| 2018年 | 3,217 | 1,978 | 4,023 | 3,085 | 6,429 | 4,330 | 7,672 | 5,342 |
| 2023年 | 2,801 | 1,700 | 2,879 | 2,185 | 5,118 | 3,407 | 5,579 | 3,841 |
| 2028年 | 1,889 | 1,132 | 2,039 | 1,532 | 3,820 | 2,513 | 3,817 | 2,597 |
| 2033年 | 1,171 | 692 | 1,465 | 1,089 | 2,915 | 1,895 | 2,581 | 1,737 |

日本木材情報センターより参照

【トピックスⅡ】 役物製品の今後について

日刊木材新聞・木材建材ウークリー他参照

役物製品はかつて、製品の中でも花形的存在で、山主や製材所、製品市場にとって貴重な収入源だった。高齢級丸太で取った床柱や敷居・鴨居・長押・磨丸太など様々な製品が和室を彩ってきた。名家といわれる家には、象徴のように素晴らしい役物製品を取り入れた和室があった。

しかし、住宅様式の洋風化などライフスタイルの変化のなかで、和室が減少したことや、各産地で高齢木丸太の枯渇などもあり、住宅での役物製品の需要は衰退の一途をたどっている。

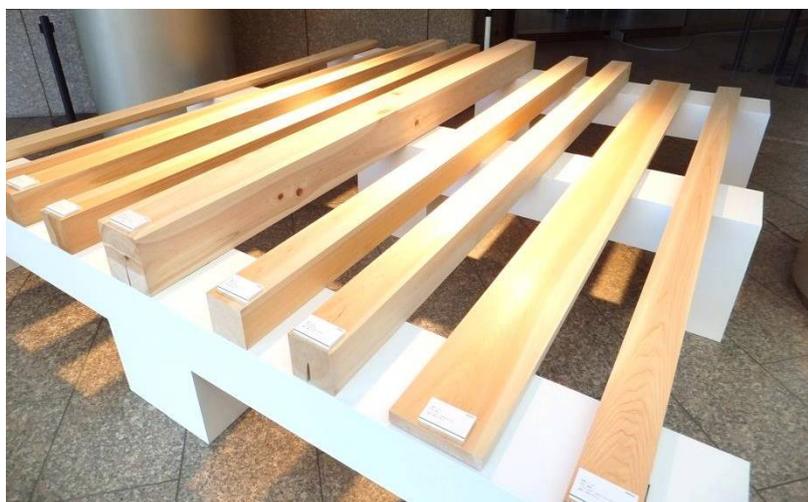
全体的にみて、ここ 30 年ほどで役物製品は杉役物製品、桧役物製品は半値以下に下落している。また、単価の高い良材ほど用途が限られてしまい、思うように売れなくなっていて、とくに昨年から一段と売れ行きが悪化した様相がみられる。

ライフスタイルの変化などで需要が減退してしまった役物製品には、時代に合わせた商品開発を行って、需要拡大を目指す必要がある。1 つは、現在の住宅様式に合わせた役物製品の開発で、例えば窓枠などに使う枠材や内装材は戸建てだけでなく、マンションリフォームでの活用や、学校など公共施設や非住宅部分への活用も期待される。

また、新たな市場の開拓として、醤油の製造で使われる木桶の製造を手掛けたところもある。さらに、視線を海外に向けた企業もあり、アジア圏を中心に日本の高級木材製品への関心も高まっており、特に中国や韓国、台湾では富裕層向けにマンション用家具や内装材のほか、カウンター材などはテーブルとして使われることも多い。

また、世界的な和食ブームもあって、日本食店舗の内装で日本産材を使う店も出ている。シンガポールなどにある富裕層向け和食店では、日本から購入したカウンター材が使われている。また、日本での役物市場回復のためにも、大都市圏の有力な工務店などと連携し、現代の生活様式に合わせた役物製品の使い方を検討するのはもちろん、店舗などの住宅分野以外での活用や海外での需要拡大等を目指す必要がある。

杢目も美しい日本の役物製品は和室にとらわれない高付加価値の新製品による需要開拓が求められている。また、役物製造工場のほとんどである中小製材工場は、原木の調達と製品供給の安定化が一番の課題になるが、大量生産で一般製材品を供給している大型工場に対して、高付加価値の商品開発・生産に取組み、適正価格での販売には販売店との関係強化、規模の維持・拡大には販路の開拓・拡大が不可欠となってくると考える。



第6回

優良土佐材見本市



高知県内3市場合同市

- 開催日 平成**28**年**2**月**23**日(火)
- 競り開始 午前 **9**時 **00**分～ 役物類
午後 **1**時～ 一般材
昼食は準備しております。
- 場所 協同組合 西部木材センター
高知県宿毛市小深浦711-3
TEL 088-65-7531
- 出品材 優良土佐材(スギ・ヒノキ他)
多数出品
- 後援 高知県・高知県木材市場連絡協議会



共 (協)高知木材センター
 (協)高幡木材センター
 催 (協)西部木材センター

宿泊・旅券に関するご相談も承ります。
 土佐材流通促進協議会
 事務局: 嶋崎・松岡 088-883-6721

主催: 土佐材流通促進協議会

高周波木材水分計 HS-100

内部水分を押し当てるだけで簡単に測定できます。
高精度型で信頼性も抜群です。



▼ マイクロメジャー株式会社

主な機能

タッチ式

木材に軽く押しあてるだけで測定できます。

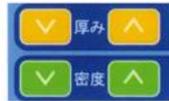
内側水分まで測定

40mmまでの内部水分を測定可能です。



厚み、密度、温度補正機能

厚み、密度に合わせて補正します。温度計を内蔵し自動で温度補正します。(手動設定可)



上限水分(アラーム)機能

設定された上限水分値を超えるとブザー、赤色LEDが点滅します。



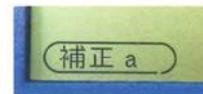
住木センター認定機種

HS-100は公益財団法人 日本住宅・木材技術センター「針葉樹製材に用いる含水率計の性能認定」において優良含水率計として認められました。(認定番号 1-15-001)



全乾で補正可能

サンプル材を実際に全乾して、HS-100の値をぴたりと合わせる機能があります。(全乾試験は別途料金) a (倍率)、b (加算) の項目が設定可能です。(a,b を変更すると認定の適用除外となります。)



仕様

| 型 式 | HS-100 | |
|-------|--------------------------------|--|
| 方 式 | 水分測定 | 高周波容量式(20MHz) |
| 測定対象 | 測定可能対象物 | 木材 |
| | 密度(g/cm ³) | 0.10~1.00 |
| | 厚み, 幅, 長さ(mm) | 10~40, 60以上, 80以上 |
| 測定範囲 | 測定回数(回/秒) | 0.8 |
| | 測定範囲(mm) | 縦46×横50 ※1 |
| | 水分値測定域(%) | 3~100(設定や密度により制限有り) |
| | 表示方式, 分解能 | 液晶デジタル表示, 0.1% |
| | 厚み設定(mm) | 10~40 |
| | 密度設定(g/cm ³) | 0.10~1.00 |
| 表示・出力 | 温度設定(°C) | 手動設定0~70(2°C刻み) または内部温度計0~45 |
| | アラーム機能 | ブザー、赤色LED |
| | その他の機能 | オートパワー-OFF(10分) |
| 補正機能 | 倍率、切片 | 倍率は標準で1.0倍 切片は標準で0% |
| | 使用環境(保存環境) | 温度(°C) 3~45(寒冷地では要加温) 湿度(%) 10~85(結露なきこと) |
| 電 源 | 006P乾電池 1本 | |
| 寸 法 | 幅61×奥行115×高さ98mm | |
| 質 量 | 約235g(電池を含まず) | |
| 製 造 国 | 日本 | |
| 付 属 | 取扱説明書(樹種表付き)、巾着袋、006P 9V電池1個以上 | |

※1…横が木材の繊維方向です。

マイクロメジャー製 高周波木材水分計 HS-100
木材協会にて特別価格で斡旋できます。

木材協会斡旋価格
本体 55,000 円
消費税 4,400 円
税込 59,400 円

お申込み・お問い合わせは
一般社団法人高知県木材協会まで
TEL : 088-883-6721

行事予定

- 1月 25日 (月) 高知県木質バイオマスエネルギー利用促進協議会 運営委員会
26日 (火) 土佐材販売力強化プロジェクトチーム会議
28日 (木) 木材普及推進協会 運営委員会
29日 (金) 高知県中小企業団体中央会 60周年記念式典
- 2月 8日 (月) 高知県農林業基本対策審議会
19日 (金) 全国木材組合連合会 事務局長会議
23日 (火) 第6回優良土佐材見本市【合同市】(西部木材センター)
26日 (金) 四国木材厚生年金基金 理事会
- 3月 10日 (木) 土佐材流通促進協議会 広島商談会
11日 (金) ナイス岡山市場 土佐材まつり
12日 (土) //
25日 (金) 全国木材組合連合会等理事会

次世代へつなぐウッドファースト社会目指して



一般社団法人高知県木材協会

〒780-0801 高知市小倉町2番8号

TEL:088-883-6721 FAX:088-884-1697

<http://www.k-kenmoku.com>